

科目区分	基礎分野	科目名	論 理 学		
開講時期	1 年次	単位・時間	1 単位 15 時間	講師名	非常勤講師
学習目標	1. 論理的思考及び言語的表現について学ぶ。 2. 思考の矛盾や妥当性を判断して処理する能力を養う。 3. 事実を正しく解釈し、言語的に表現することを身につける。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	イントロダクション 原稿用紙の使い方			講義
	2	日本語の特質			講義
	3	わかりやすい表現の追求			講義
	4	待遇表現①			講義
	5	待遇表現②			講義
	6	手紙の書き方			講義
	7	来客の応対			講義
	8	筆記試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	オリジナルプリント配布				
参考文献	『看護系学生のための日本語表現トレーニング』（三省堂）				
自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	学んだ項目について、自身の言語生活を振り返ること		

科目区分	基礎分野	科目名	情報科学		
開講時期	2 年次	単位・時間	1 単位 30 時間	講師名	非常勤講師
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報科学の基礎理論を学び、人と情報社会との関係を理解する。 2. 情報科学と看護との関連について理解する。 3. 情報の収集・蓄積・分析の能力を身に付け、情報の整理と活用の基礎を理解する。 4. 一般的な統計の概念、統計の方法について理解する。 5. 社会現象、衛生の動向を客観的にとらえ、統計の推定解釈ができる。 6. 看護研究に必要な統計的手法を理解する。 				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	情報科学とは 情報量の定義			講義
	2	情報の処理と保護 コンピュータのしくみ			講義
	3	コンピュータのハードウェア 各装置の働きとしくみ			講義
	4	コンピュータのソフトウェア OS とアプリケーション、2 進数			講義
	5	コンピュータ内部のデータ表現 数・文字・画像・音			講義
	6	論理演算・プログラミング			講義
	7	エクセルの基礎、入力からグラフまで			講義
	8	ワードの基礎と応用・差し込み印刷まで			講義
	9	統計学の概要・記述統計			講義
	1 0	エクセルで記述統計			講義
	1 1	区間推定			講義
	1 2	検定			講義
	1 3	t 分布を使った区間推定・検定			講義
	1 4	エクセルで推定・検定			講義
	1 5	終講試験			講義
評価方法	筆記試験 50% 実技試験 50%				
テキスト	看護・医療系のための情報科学入門―臨床現場での情報処理と統計処理の必須基礎知識 ＜医学芸術社＞				
参考文献					
自己学習時間	15 時間	事前・ 事後学習			

科目区分	基礎分野	科目名	人 間 工 学		
開講時期	1 年次	単位・時間	1 単位 15 時間	講師名	非常勤講師
学習目標	人間工学は、人間と製品や環境との最適な関係を実現する工学です。人間の感覚・感性や動作を計測・評価する手法、人間が使いやすい製品を設計する手法などについて講義します。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	人間工学とは			講義
	2	人間工学に関する事例紹介			講義
	3	看護と人間工学			講義
	4	行動分析とは			講義
	5	行動分析の事例について			講義
	6	ヒューマンエラーについて			講義
	7	ヒューマンエラーの事例について			講義
	8	ユニバーサルデザインについて 終講試験			講義
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	イラストで学ぶ看護人間工学 <東京電機大学出版会>				
参考文献					
自己学習時間	30 時間	事前・ 事後学習			

科目区分	基礎分野	科目名	教 育 学		
開講時期	1年次	単位・時間	1単位 15時間	講師名	非常勤講師
学習目標	1. 教育の原理を基盤として、人間形成における教育の機能について理解を深める。 2. 望ましい人間形成のあり方や人間の可能性を引き出すための教育の意義・方法を学習し、看護における教育の機能が果たせるように関連させ理解する。 3. 主体的に学習する基盤とする。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	教育の概念・発達概念			講義
	2	発達の理論の展開			講義
	3	教育問題の理解と支援①			講義
	4	教育問題の理解と支援②			講義
	5	文化と教育(ジェンダー)			講義
	6	問題行動と教育			講義
	7	キャリアと自己実現			講義
	8	終講試験			
評価方法	レポート評価・学科試験				
テキスト					
参考文献					
自己学習時間	30時間	事前・事後学習			

科目区分	基礎分野	科目名	心 理 学		
開講時期	1 年次	単位・時間	1 単位 30 時間	講師名	非常勤講師
学習目標	1. 人間の心の仕組みや、状況によって変化する心と身体の様態を学ぶ。 2. 自己理解を深め、自己成長・人間形成をはかり、対象の心理的理解およびそれに基づく対応に活かせるようになることを目指す。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	心理学の歴史、看護とのかかわり			講義
	2	認知からの人間理解「感覚・知覚」			講義
	3	認知からの人間理解「記憶と想起」			講義
	4	認知からの人間理解「知識としての概念」			講義
	5	行動からの人間理解「学習と行動」			講義
	6	認知からの行動理解「言語とコミュニケーション」			講義
	7	人間関係からの人間理解			講義
	8	パーソナリティからの人間理解			講義
	9	行動からの人間理解「欲求・葛藤・感情」			講義
	10	発達からの人間理解「胎児期～児童期」			講義
	11	発達からの人間理解「青年期～老年期」			講義
	12	心理臨床からの人間理解①「カウンセリングと心理療法」 看護に活かす心理学①			講義
	13	心理臨床からの人間理解② 看護に活かす心理学②			講義
	14	心理臨床からの人間理解② 「ストレスとコーピング、防衛機制」 看護に活かす心理学②「自己理解」			講義
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	新体系看護学全書 心理学 <メヂカルフレンド>				
参考文献					
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習			

科目区分	基礎分野	科目名	社 会 学		
開講時期	1 年次	単位・時間	1 単位 15 時間	講師名	非常勤講師
学習目標	人間と社会との関わりについて社会的なものの方・考え方を学び、現代社会を俯瞰できる力を養うことを目指します。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	社会学入門：社会的なものの方、考え方			講義
	2	社会学入門：社会学の基礎理念			講義
	3	家族・ジェンダーの社会学			講義
	4	家族の社会学：家族とは何か、結婚と家族			講義
	5	働き方の社会学：働き方と働かせ方			講義
	6	地域の社会学：コミュニティと社会資本			講義
	7	全体のまとめ			講義
	8	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 社会学 <医学書院>				
参考文献					
自己学習時間	30 時間	事前・事後学習			

科目区分	基礎分野	科目名	倫 理 学		
開講時期	1年次	単位・時間	2単位 30時間	講師名	非常勤講師
学習目標	1. 倫理的な考え方の基礎知識を学び、人間としてのあり方生き方について深く考える。 2. 個人としての道徳、共同体としての倫理について学び、行動規範となるものへの理解を深め、共に尊重し合う倫理的な行動の基礎を身につける。 3. 生命倫理の具体的な課題について、代表的な論説を理解し、自分なりの考えを深める。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	序論 倫理学という学問			講義
	2	第1部 倫理学の基礎理論 功利主義			講義
	3	義務論の理論と現代			講義
	4	徳倫理学の理論と現代			講義
	5	生命倫理と倫理学理論			講義
	6	第2部 生命倫理の基本課題 生まれることの倫理			講義
	7	生まれ方を操作することの倫理			講義
	8	死ぬことの倫理			講義
	9	新時代の死と移植の倫理			講義
	10	第3部 生命倫理の応用課題 出生前診断の新技术と倫理			講義
	11	生殖ツーリズムという現代と倫理			講義
	12	安楽死・尊厳死法制化と倫理			講義
	13	第4部 生命圏という考え方 生命圏倫理と倫理学理論			講義
	14	産業・経済と人間の倫理			講義
15	生命圏の倫理学			講義	
評価方法	レポート評価				
テキスト	『ベーシック生命・環境倫理』『プラクティカル生命・環境倫理』徳永哲也				
参考文献	テキスト巻末に記載				
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	授業進行に合わせて、テキストと板書ノートの予習読み・復習読みを励行しよう。		

科目区分	基礎分野	科目名	人間関係論		
開講時期	1年次	単位・時間	2単位 30時間	講師名	非常勤講師
学習目標	<p>本講義では、自己を理解し他者を支援するための人間関係の基礎について学ぶ。また、人間関係における様々な臨床的問題について考え、人間関係の支援について習得することを目的とする。</p> <p><学習の到達目標> ①人間関係の基本を理解できる。 ②臨床的問題について知る。 ③臨床的支援のスキルを学び実践できる。</p>				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	人間関係の基本 「対人コミュニケーション No.1」			講義
	2	人間関係の基本 「対人コミュニケーション No.2」			講義
	3	人間関係の基本 「自己理解・他者理解 No.1」			講義
	4	人間関係の基本 「自己理解・他者理解 No.2」			講義
	5	人間関係の基本 「人間関係の諸相」			講義
	6	人間関係の臨床的問題 「人間関係とストレス No.1」			講義
	7	人間関係の臨床的問題 「人間関係とストレス No.2」			講義
	8	人間関係の臨床的問題 「人間関係の不適応 No.1」			講義
	9	人間関係の臨床的問題 「人間関係の不適応 No.2」			講義
	10	人間関係の臨床的支援 「臨床場面の人間関係 No.1」			講義
	11	人間関係の臨床的支援 「臨床場面の人間関係 No.2」			講義
	12	人間関係の臨床的支援 「人間関係スキルとトレーニング No.1」			講義
	13	人間関係の臨床的支援 「人間関係スキルとトレーニング No.2」			講義
	14	まとめ			講義
	15	終講試験			
評価方法	筆記試験 80% 出席・授業への意欲				
テキスト	人間関係論 <医学書院>				
参考文献	上野徳美、岡本祐子、相川充<編>「人間関係を支える心理学」 北大路書房				
自己学習時間	15時間	事前・事後学習			

科目区分	基礎分野		科目名	英 語 I		
開講時期	1 年次	単位・時間	1 単位 30 時間	講師名	非常勤講師	
学習目標	1. 日常の診療および看護における基礎的な英会話が理解できる。					
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態	
	1	House And Home			講義	
	2	Personal Information / Biodata			講義	
	3	Basic Actions			講義	
	4	Family			講義	
	5	Routines			講義	
	6	Time And Dates			講義	
	7	Food			講義	
	8	Numbers			講義	
	9	Work			講義	
	1 0	Health And Fitness			講義	
	1 1	Transportation			講義	
	1 2	Sickness			講義	
	1 3	Money			講義	
	1 4	Friends And Personal Characteristics			講義	
	1 5	Free time activities and Hobbies			講義	
評価方法	筆記試験 50% 出席・授業への積極性					
テキスト	Write Away Right Away & Topic Talk					
参考文献						
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習				

科目区分	基礎分野	科目名	英 語 II		
開講時期	2 年次	単位・時間	1 単位 30 時間	講師名	非常勤講師
学習目標	1. 日常の診療および看護における基礎的な英会話が理解できる。 2. 医療・看護に関する外国文献・資料を読解する基礎的能力を養う。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	Cognition - Learning how to learn			講義
	2	Following Directions			講義
	3	Anatomy			講義
	4	Asking For Personal Information			講義
	5	Describing Photographs			講義
	6	Medical Registration			講義
	7	Emotions			講義
	8	Nutrition			講義
	9	Body Systems			講義
	1 0	Describing Symptoms			講義
	1 1	Work Routines			講義
	1 2	Recounting Events			講義
	1 3	Health Habits			講義
	1 4	Recounting Medical History			講義
	1 5	Schedules and Frequency			講義
評価方法	筆記試験 50% 出席・授業への積極性				
テキスト	Write Away Right Away / Topic Talk				
参考文献					
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習			

科目区分	基礎分野	科目名	保 健 体 育		
開講時期	1 年次	単位・時間	1 単位 30 時間	講師名	非常勤講師
学習目標	1. スポーツのもつ健康への意義を、実践を交えながら学ぶ。 2. 多様化する社会の中で、心身ともに健康で過ごす方法を学ぶ。 3. 運動習慣を身に付ける。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	ガイダンス・講義「健康と生活について」			講義
	2	ウォーキング①フォームと歩き方の注意点 ②心拍数を用いた運動強度の設定			実技
	3	アイスブレイキングゲーム			実技
	4	ストレッチと体力を高める運動			実技
	5	バドミントン（1）	・ラケット操作 ・ミニゲーム		実技
	6	バドミントン（2）	・各ショットの練習（ハイクリア・ヘアピン）		実技
	7	バドミントン（3）	・各ショットの練習（ドライブ） ・ダブルスゲーム		実技
	8	球技（1）	・ドッジボール ・ボール操作とミニゲーム		実技
	9	球技（2）	・バスケットボール ・ボール操作とミニゲーム		実技
	10	ニュースポーツ	・インディアカ（1） ・パスとサーブ		実技
	11	ニュースポーツ	・インディアカ（2） ・トスとラリーを続ける		実技
	12	ニュースポーツ	・インディアカ（3） ・6人制ゲームと審判方法		実技
	13	チーム対抗戦			実技
	14	チーム対抗戦			実技
	15	授業まとめ・筆記試験			
評価方法	出席状況・授業への積極性（40%）、技能（30%）、筆記試験（30%）を総合的に評価				
テキスト					
参考文献					
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習			